

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和5年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
ひたちなか・東海広域事務組合	下水道事業	公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

下水道事業の整備は、ほぼ完了しており維持管理を主たる業務としている。また、経営状況については、下水道使用料で汚水経費を賄えているため、抜本的な改革の検討していなかった。今後は、施設の老朽化などにより経費の増加が予想されるため、民間活用を含めた抜本的改革を検討する予定である。